

「学校教育目標」と「重点目標」に向けて

【学校教育目標】

- (1) 授業計画や授業方法の工夫改善により、生徒たちの学習意欲をより高め、学習活動を充実させることにより充実した学校生活を送れるよう支援する。
- (2) 全教職員が生徒一人ひとりの状況や動向への把握・理解に努め、働きながら学ぶ生徒の「心の居場所・拠り所」となるよう学校環境の整備を図る。

【重点目標】

- ①学習指導の充実に努め、確かな学力の定着を図る。
- ②進路指導を充実させ、希望する進路の実現に努める。
- ③基本的な生活習慣の確立に努め、規範意識を培う。
- ④体育・スポーツ活動を奨励し、心身の陶冶と体力向上に努める。

資質・能力の育成

何ができるようになるか

- 自己を見つめ直し、適切な自己像のもとで人格を陶冶できる
- 他者（級友・教師）とともに学び、相互に高め合うことができる
- アルバイトや奉仕作業などを通じて地域社会に貢献できる

目指す学校像

- 「学び直し」と「働きながら学ぶ」を両立できる学校
- 多様な背景をもつ生徒たちが個人として自立することを支援する場としての学校
- 望ましい人間関係の構築を支援する場としての学校

子供の実態

- 自己肯定感が低く、物事に積極的に取り組むことができない
- 基礎学力が不足し、学びに向かうことができない
- 適切な人間関係の形成が難しい
- 健康・安全に対する意識が低い
- 適切な職業観が形成されていない

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- チームティーチングの活用
- 公的機関（市役所・児童相談所等）との連携
- スクールカウンセラーとの連携
- 日本語指導者の活用

目指す子供の姿

- 自己肯定感が高まったか
- 学びに向かう力が高まったか
- 適切な人間関係を築くことができたか
- 健康・安全を意識して生活することができたか
- 適切な職業観が身についたか

何を、どのように学ぶか

○教育課程の編成

- 【学習指導】 ○基礎・基本を重視した教育課程の編成 ○個に応じた指導法の開発
○主体的・対話的で深い学び
- 【進路指導】 ○進路ガイダンス ○就業意識の高揚 ○始業前学習 ○資格取得
- 【生活指導】 ○基本的生活習慣の確立 ○スクールカウンセラーの活用 ○保健講話
- 【特別活動】 ○定通大会 ○文化祭 ○奉仕活動

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働